

製品名: FYN マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85957**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,FC 1:25-1:50
分子量	60.8kDa

抗原情報

遺伝子名	FYN
別名	Tyrosine-protein kinase Fyn, Proto-oncogene Syn, Proto-oncogene c-Fyn, Src-like kinase, SLK, p59-Fyn, FYN
遺伝子 ID	2534.0
SwissProt ID	P06241
免疫原	この FYN 抗体は、ヒト FYN からの組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されません。

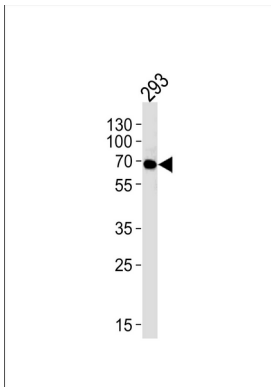
背景

細胞増殖および生存、細胞接着、インテグリンを介したシグナル伝達、細胞骨格リモデリング、細胞運動、免疫応答および軸索誘導の調節を含む多くの生物学的プロセスにおいて役割を果たす非受容体チロシンタンパク質キナーゼ。不活性型 FYN は、触媒ドメイン内の C 末端がリン酸化される。PKA による活性化に続いて、このタンパク質は PTK2/FAK1 と会合し、PTK2/FAK1 のリン酸化、活性化、および接着斑への標的化を可能にする。CTNNB1 (β -カテニン) および CTNND1 (δ -カテニン) のリン酸化を介して細胞接着および運動の調節に関与する。アクチン調節因子 WAS や微小管関連タンパク質 MAP2 および MAPT を含むいくつかのタンパク質をリン酸化することにより、細胞骨格リモデリングを調節する。AGAP2/PIKE-A をリン酸化してそのアポトーシス切断を防ぐことにより、細胞生存を促進する。NPHS1、KIRREL、TRPC6 などのスリット膜成分をリン酸化することにより、糸球体スリット膜 (腎臓の糸球体フィルターの重要な部分) の完全性を制御するシグナル伝達経路に関与します。中枢神経系内の多機能アダプタータンパク質である DPYSL2、さまざまな神経機能に関与する Rho ファミリー GTPase の調節因子である ARHGAP32、および小さなシナプス前タンパク質である SNCA をリン酸化することにより、神経プロセスに関与します。T 細胞受容体 (TCR) 刺激後の T 細胞の分化と増殖につながる下流シグナル伝達経路に関与します。また、PAG1 のリン酸化を介して TCR シグナル伝達の負のフィードバック制御に関与し、それによって PAG1 と CSK 間の相互作用および脂質ラフトへの CSK のリクルートメントを促進します。CSK は LCK と FYN を不活性型に維持します。CD28 誘導による VAV1 のリン酸化を促進します。

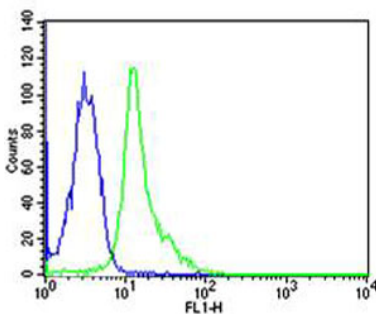
研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

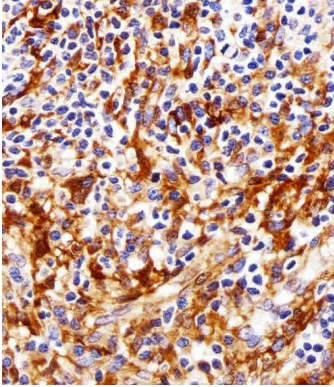
画像データ



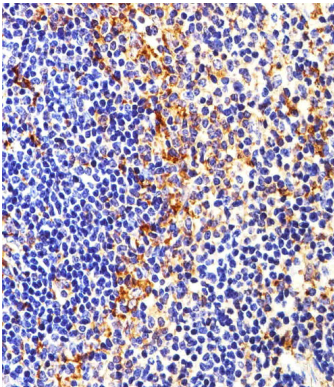
FYN 抗体を用いた 293 細胞株ライセートのウェスタンブロット解析。FYN マウスモノクローナル抗体は各レーンで 1:1000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L(HRP)抗体を 1:3000 に希釈したものを使用した。ライセートは 1 レーンあたり 35 μ g。



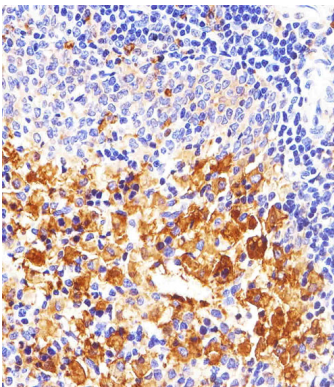
FYN (緑、カタログ番号 AMM85957) を用いた HeLa 細胞のフローサイトメトリー解析と、マウス IgG1 アイソタイプコントロール (青) との比較。AMM85957 は 1:25 希釈で使用した。二次抗体として Alexa Fluor® 488 ヤギ抗マウス IgG を 1:400 希釈で使用した。



FYN (カタログ番号 AMM85957) を用いたパラフィン包埋 H.tonsil 切片の免疫組織化学染色。AMM85957 は 1:25 に希釈した。二次抗体としてペルオキシダーゼ標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を用い、DAB 染色を行った。



FYN (カタログ番号 AMM85957) を用いたパラフィン包埋 M. spleen 切片の免疫組織化学染色。AMM85957 は 1:25 に希釈した。二次抗体としてペルオキシダーゼ標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を用い、DAB 染色を行った。



FYN (カタログ番号 AMM85957) を用いたパラフィン包埋 R. spleen 切片の免疫組織化学染色。AMM85957 は 1:25 希釈で作製した。二次抗体としてペルオキシダーゼ標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を用い、DAB 染色を行った。